

## 小樽市総合戦略に位置付ける事業と施策KPI

### 《平成28年度実績値による現状分析》

総合戦略に位置付けている事業について、目標値の達成度をスコア表示すると、集計対象の全56事業、66KPIのうち28事業、35KPIが80以上のスコアで順調に目標値に向けて推移しているものの、全体の平均スコアは51.21に止まっている。

各プロジェクト別に見ると、「あずましい暮らしプロジェクト」、「あんしん絆再生プロジェクト」のスコアが伸び悩んでおり、引き続き指標の追加や見直し、事業内容の精査などを行う必要があると思われる。

各プロジェクトごとの平均スコアは以下のとおりである。

(1) あずましい暮らしプロジェクト	(集計対象 9事業[13KPI]／全 11事業[16KPI])	スコア: <b>43.74</b>
(2) 樽っ子プライド育成プロジェクト	(集計対象 16事業[18KPI]／全 19事業[21KPI])	スコア: <b>49.97</b>
(3) にぎわい再生プロジェクト	(集計対象 18事業[21KPI]／全 18事業[21KPI])	スコア: <b>74.01</b>
(4) あんしん絆再生プロジェクト	(集計対象 13事業[14KPI]／全 14事業[15KPI])	スコア: <b>25.56</b>

※平成29年度新規事業(★)及び実績値未集計の事業は集計対象外

### (1)あずましい暮らしプロジェクト

#### 1 市営住宅改善・建替事業

<建設部(建築住宅課)>

老朽化した市営住宅の改修や建替を計画的に進める事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
市営住宅の改善・建替の実施棟数	18棟	21棟	27棟	75.00	75.00	48棟

[目標値] 計画における目標値、5年累計 ~ 小樽市住宅マスタープラン(住生活基本計画)(H27.3)

#### 《現状分析》

年度ごとの件数に偏りがあり、中止や延期となった計画もあることから平成31年度に46棟となる推移となっており、平成28年度については計画どおり実施出来た。引き続き、小樽市公共賃貸住宅長寿命化計画に基づき事業を行う。

#### ★ 2 既存住宅借上公営住宅事業

<建設部(建築住宅課)>

まちなかでの市営住宅需要に対応するため、既存の民間共同住宅の空き住戸を市が借上げ、低所得の子育て向けに供給する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
借上住戸数(累計)	0戸		—			30戸

[目標値] 10戸/年 ※H29新規事業 ~ 累計  
※H29.3改訂で追加

#### 《現状分析》

平成29年度からの開始したばかりの制度であり、現状分析は困難。平成29年度の応募状況を勘案しながら事業者の確保に努めていくこととする。

#### 3 住宅エコリフォーム助成事業

<建設部(建築住宅課)>

安全・安心で快適な住環境整備に取り組むため、断熱性の向上を目的とした改修等を対象とした助成事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
住宅エコリフォーム助成件数	0件		5件	41.67	41.67	30件

[目標値] 30件/年 ※H28新規事業  
※H29.3改訂で追加

#### 《現状分析》

制度開始初年度であるため、まだ市民に幅広く周知しきれておらず、工事要望の多い窓断熱改修も居室全体を要件とするため、制度利用のハードルが高く、利用者数が少なかったもの。ホームページ等で引き続き周知を行い、制度利用者の増加に努める。

#### 4 起業家定住促進事業

<産業港湾部(商業労政課)>

市内での定住を促進するため、市内商店街・市場の空き店舗での新規起業家に対し、家賃助成などの支援を行う事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
助成対象起業家数	5件	4件	5件	0.00	0.00	6件

[目標値] 計画における目標値 ~ 小樽市創業支援事業計画(H27~31)

##### 《現状分析》

目標値に到達していないものの実績は順調に推移しているが、実績値を向上させるためには助成対象の条件となる「小樽商人塾」の受講者数を増やす必要がある。

#### 5 移住促進事業

<総務部(企画政策室)>

当市への移住を促進するためワンストップ窓口を設置するとともに、首都圏でのプロモーション活動やホームページによる情報発信などを実施する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
移住・定住に関する問合せ件数	52件	104件	78件	135.42	100.00	100件

[目標値] +10件/年

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
移住ワンストップ窓口を利用した移住世帯数	6世帯	6世帯	12世帯	375.00	100.00	10世帯

[目標値] +1世帯/年

##### 《現状分析》

※H29.3改訂で指標見直し

平成28年度は前年度よりは減少したが、フェア来場者を除いても月平均4件の相談があった。移住ワンストップ窓口を設置した平成17年度以降に窓口を利用して移住した実績は77世帯163人である。平成27年度は相談件数が多かったため、その翌年に移住した世帯が多いものと考えられる。引き続き情報発信を行なうほか、相談から移住に結びつけるよう丁寧な対応を行なっていく。

#### 6 交通事故防止啓発事業

<生活環境部(生活安全課)>

交通事故の撲滅を目指し、関係機関・団体と連携し、多くの市民へ交通事故防止の呼びかけを行う事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
交通事故件数	213件	162件	220件	-21.21	-21.21	180件

[目標値] -7件/年

##### 《現状分析》

北海道の交通事故件数は、年毎に増減を繰り返しているのが現状であり、本市においてもそれは当てはまる。昨今の車両開発技術の向上もあり、運転者の死亡事故は減少傾向にあるも、歩行者、特に高齢者が被害者となる死亡事故が昨年は増加した。市、警察署、関係機関・団体と密接に連携し、取組を展開していく。

#### 7 空き家対策事業

<建設部(建築指導課)>

市内の空き家に関する相談業務や適切な維持管理がされていない空き家所有者に対して指導等を行う事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
特定空家等で除却・解体された件数	0件	0件	0件	0.00	0.00	20件
特定空家等で除却・解体以外で是正された件数	0件	0件	0件	0.00	0.00	10件

[目標値] 計画における目標値 ~ 小樽市空家等対策計画(H29.2)

※H29.3改訂で指標見直し

##### 《現状分析》

平成29年2月、小樽市空家等対策計画を策定した、その為平成28年度においては実績がない。

## 8 除雪事業

<建設部(雪対策課)>

安全で快適な冬の生活を確保するため、市道の総合的な除排雪等を行う事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
市民の声「除雪依頼」件数	1,199件	488件	836件	245.93	100.00	830件
市民の声「排雪依頼」件数	498件	430件	827件	-865.79	-100.00	460件

[目標値] 過去5年間の平均値×8割

※H29.3改訂で目標値見直し950件→830件

### 《現状分析》

除雪については新たな取り組み等により一定程度の効果があつたものと思われる。引き続き除雪の改善に努めていく。排雪については、沿道の雪山が大きくなり除雪が出来なくなった段階で排雪を実施する市の排雪に対する考え方について、市民の皆様への周知不足や排雪作業の遅れが「市民の声」件数の増加要因と考えられる。また、一部のバス路線で運行に支障をきたしたことも排雪依頼の件数が増加の一因と考えられる。今後はバス事業者と排雪時期について協議を行い、市民の声減少に努める。

## 9 街路防犯灯LED化推進事業

<建設部(庶務課)>

既存街路防犯灯(水銀灯・白熱灯・蛍光灯)をLEDへ改良する団体等に対し、助成金を交付しLED化を推進する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
町会等が保有する既存の水銀灯、蛍光灯、白熱灯のLED改良数及び撤去数	0灯	3,808灯	7,554灯	165.67	100.00	11,399灯

[目標値] 対象となる灯数

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
街路防犯灯維持費補助金額	54,886,770円	61,280,375円	47,105,331円	73.15	73.15	28,294,000円

[目標値] LEDに改良可能:全体の8割化, LED化で電気料金6割減

### 《現状分析》

LED化についてはほぼ計画通りの整備状況であるため(H27:3,808灯、H28:3,746灯)、事業の最終年度(H29)まで助成を行う。維持費助成金は、平成27年度がLED化の初年度であったため低減効果が小さく、さらに電気料金の高騰により基準値より増額したが、平成28年度はLED化された灯数が増加したことで維持費の低減効果が表れ始めている。

## 10 地域公共交通確保対策事業費補助事業

<建設部(まちづくり推進課)>

生活交通の存続が危機となっている地域の路線維持やバリアフリー化の導入等により、地域公共交通の確保・維持・改善を支援する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
地域公共交通確保対策事業の活用件数	2件	3件	3件	125.00	100.00	4件

[目標値] 見込み件数より、総累計件数

### 《現状分析》

小樽～積丹間の路線バス運行に生じる赤字額のうち、国及び道からの補助金でまかないきれない部分については、引き続き利用実態に合わせて応分の負担をする。

## ★ 11 建築ストックを活かしたリノベーションシティ小樽まちづくり事業

<建設部(公園緑地課)>

市指定歴史的建造物「旧寿原邸」を改修しリノベーションの拠点として活用するとともに、空き家の維持・管理ができる組織づくり、移住希望者に空き家マッチングの仕組みづくりを行う事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
空き家のマッチング件数	0件		—			12件

[目標値] 計画における目標値 ※H29新規事業 ~ 小樽市空家等対策計画(H29.2)

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
空き家バンク登録件数	0件		—			20件

[目標値] 計画における目標値 ※H29新規事業 ~ 小樽市空家等対策計画(H29.2)

### 《現状分析》

※H29.3改訂で追加

計画の策定時期が第4四半期であったため、実績値が0である。今後、事業を行う予定である。

## (2) 構っ子プライド育成プロジェクト

### 12 ICT教育推進事業

<教育部(施設管理課)>

より良い教育環境の整備を図るため、ICT機器(実物投影設備等)を整備し、あわせてICT教材を全小学校へ導入するとともに、これらを効果的に授業で活用するためのサポートを実施する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
授業がよくわかると答えた児童の割合(小学校)	75.85%	79.9%	80.6%	83.92	83.92	90%
授業がよくわかると答えた生徒の割合(中学校)	67.85%	71.7%	69.25%	28.81	28.81	80%

[目標値] +2.5%/年(実現可能な範囲で設定) ~ 全国学力・学習状況調査結果

#### 《現状分析》

平成28年度は、新たに小学校の1年生から3年生の全教室に大型液晶テレビが配備され、児童にとって分かりやすい授業改善が進んだことで、平成28年度の実績値が伸びている。  
中学校においては、大型液晶テレビ及び実物投影機が配備されていないことから、平成28年度の実績値は、あまり伸びていない。

### 13 「構っ子学校サポート」関係事業

<教育部(生涯学習課)>

児童生徒の学習意欲の向上と基礎学力の定着を目指すため、小樽商科大学および市内に在住する大学生・高校生を小中学校へ派遣し学習支援を実施する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
延べ実施日数	158日	238日	256日	218.75	100.00	270日

[目標値] +20日/年

※H29.3改訂で目標値見直し200日→270日

#### 《現状分析》

学校から派遣希望があっても派遣できなかった校数は8校であった。  
高校生は長期休業中の派遣により増加しているが大学生は減少傾向にあるため、周知のためのPRを続けていく。

### ★ 14 コミュニティスクール導入等促進事業

<教育部(学校教育支援室)>

学校運営協議会制度によるコミュニティスクールの導入を目指し、推進委員会を立ち上げ、導入に向けて教職員や地域住民の理解の促進を図る事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
コミュニティスクールの指定	0校		—			2校

[目標値] 計画における目標値 ※H29新規事業 ~ H30以降に実施

※H29.3改訂で追加

#### 《現状分析》

平成29年度から実施する事業のため実績値なし。

### 15 教育支援活動推進事業

<教育部(生涯学習課)>

未来を担う子どもたちを健やかに育むため、ボランティアを活用した小中学校の教育活動を支援する体制を確立するほか、家庭教育支援チーム「小樽わくわく共育ネットワーク」を要として家庭教育力の向上を図る事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
ボランティア派遣延べ人数	8,299人	10,159人	5,673人	-154.38	-100.00	10,000人

[目標値] 延べ6,000人

※H29.3改訂で追加

#### 《現状分析》

登下校安全指導については派遣回数が多いが、平成28年度に統廃合により廃校となった学校の分が減少している。  
学習支援、環境整備では派遣件数が少ないため、学校登録ボランティアを増やしていけるよう、地域での周知活動に努める。

## 16 音読推進事業

<教育部(学校教育支援室)>

全ての小中学校で取り組んでいる家庭学習での「音読」活動の充実を図り、児童生徒の学力向上を推進する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
平日1日あたり1時間以上家庭学習する児童生徒の割合(小中学校)	50.6%	53%	52.6%	25.77	25.77	70%

[目標値] +5%/年(実現可能な範囲で設定)

### 《現状分析》

平成28年度は、「音読カードテンプレート集」を各小中学校へ配付するとともに、第4回小樽音読カップを開催するなどして音読への関心・意欲を高めたことで、市内全ての小中学校で音読に取り組んでいるが、1時間以上家庭学習をする児童生徒は微増となっているため、他の宿題等との関連を図りながら取り組む必要がある。

## 17 「小樽イングリッシュキャンプ」関係事業

<教育部(学校教育支援室)>

市内小中学生の国際感覚を育むため、ALT(外国語指導助手)や小樽商科大学の留学生との活動や宿泊生活など「英語漬け」の時間を過ごすプログラムを実施する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
参加児童生徒数	67人	67人	65人	-6.06	-6.06	100人

[目標値] H27見込みから+10人/年

### 《現状分析》

平成28年度は、当初、参加人数が68名だったが、家庭の都合により急遽、キャンセルが出たこと、また、ALT等の外国人の指導者の確保が難しかったことから、多くの参加者を募集することができず、実績値が伸びなかった。

## 18 小学校英語教育推進事業

<教育部(学校教育支援室)>

平成32年度からの英語教育の拡充を見据え、小学校第3学年及び第4学年の総合的な学習の時間における国際理解教育の指定校に講師を派遣する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
推進校において「外国語を使った学習は好きだ」と答えた児童の割合	0%		90.7%	238.68	100.00	95%

[目標値] H28見込みから+1.5%/年 ※H28新規事業  
※H29.3改訂で追加

### 《現状分析》

小学校第3学年及び第4学年の総合的な学習の時間において、外部講師を招聘した英語を使った活動が非常に効果的だったことから、実績値が高くなった。

## ★ 19 キャリア教育推進事業

<教育部(学校教育支援室)>

本市の児童生徒が職場体験などを通して、学ぶことや働くことの意義を考え、地域の方とのふれあいを通して「ふるさと小樽」のよさに気づき、将来を考える機会を設けることで、小樽の将来を担う人材育成を目指す事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
指定校において「将来の夢や目標を持っている」と答えた生徒の割合	0%		—			75%

[目標値] H29見込みから+1.5%/年 ※H29新規事業  
※H29.3改訂で追加

### 《現状分析》

平成29年度から実施する事業のため実績値なし。

## 20 スクールライブラリー便事業

<教育部(図書館)>

学校のリクエストに応じて図書館図書を学校に貸し出すため、計画的に専用図書を購入する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
実利用校数	15校	21校	24校	150.00	100.00	30校

[目標値] 市内全校を目標

### 《現状分析》

蔵書数1,865冊のため、全学校に配本するには至らず、学校巡回と並行して実施している。利用校からのアンケート結果より、貸出期間が2か月では短く、長期休み前の配本の方がいいなどの要望があった。資料の中身についても学校司書を通し、各学校の状況を把握し、テーマ別セットなどの配本も考慮していく。

## ★ 21 スポーツ選手交流事業

<教育部(生涯スポーツ課)>

市内の小学校にプロスポーツ選手を派遣し、外部指導者を活用した授業を実施することにより、運動やスポーツに対する意欲を高め、運動習慣の形成や体力向上を図る事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
受講児童数	0人		—			360人

[目標値] 1授業当たり平均60人×6授業(レバンガ北海道2授業,エスポラーダ北海道4授業) ※H29新規事業  
※H29.3改訂で追加

### 《現状分析》

平成29年度から実施する事業のため実績値なし。

## 22 保育環境整備事業

<福祉部(こども育成課)>

幼稚園、保育所等の絵本を整備し、読み聞かせ活動の推進や家庭での読書習慣を醸成することなどにより、教育・保育環境の充実を図る事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
幼稚園、保育所等における教育・保育環境充実に関する取組	269回	359回	309回	322.58	100.00	300回

[目標値] H27見込を現状維持

### 《現状分析》

平成27年度に啓発事業を実施した成果と思われる。引き続きの普及と啓発を各施設に促す。

## 23 ファミリーサポートセンター事業

<福祉部(こども育成課)>

子育ての援助を行うことを希望する者と子育ての援助を希望する者との相互援助活動に関する連絡調整等を行う事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
提供会員数	128人	137人	137人	31.25	31.25	200人

[目標値] 年2回の研修会に6名受講→+12人/年

### 《現状分析》

提供会員の高齢化や転出による退会もあるため、引き続きPRを行って会員の確保に努める。

## 24 地域子育て支援センター事業

<福祉部(こども育成課)>

子育て支援センターにおいて保育士が遊びや親子の交流の場を提供するなど、さまざまな形で子育てを応援する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
利用親子人数	9,600人	12,939人	11,754人	384.64	100.00	11,000人

[目標値] H27実績をベースに出生数の減少を見込んで目標値を設定  
※H29.3改訂で目標値見直し9,600人→11,000人

### 《現状分析》

センター開放や出向き事業などを引き続き行い、目標値を達成した。出生数の減少に伴い、利用者が減少している地域もあるため、現状維持を目標とし、目標値の上方修正は行わない。

## 25 母子保健推進事業

<保健所(健康増進課)>

妊娠期の母体の健康と子どもの健康を守るための環境を整備する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
乳幼児健診受診率	96.45%	95.8%	97%	111.40	100.00	96.45%

[目標値] 現状維持

### 《現状分析》

既に高いレベルの実績値であるため、現状維持に努める。

## 26 こんにちは赤ちゃん事業

<保健所(健康増進課)>

生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を保健師などが訪問し、養育環境の把握や育児についての相談等を行う事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
乳児家庭全戸訪問実施率	98.1%	98%	97.5%	36.84	36.84	98.1%

[目標値] 現状維持

### 《現状分析》

既に高いレベルの実績値であるため、現状維持に努める。

## 27 こども医療助成事業(旧:乳幼児医療助成事業)

<医療保険部(後期高齢・福祉医療課)>

子育て支援、人口対策等の観点から、子どもを安心して育てられる環境を整えるため、小学生までの医療費自の一部負担を軽減する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
健康保険の一部負担金に対する市の負担(助成)割合	49.2%	49.1%	68.4%	94.49	94.49	100%

[目標値] 全額負担(助成)

※H29.3改訂で指標見直し

### 《現状分析》

平成28年8月から対象を小学生の入院外にも拡大し、順調に推移している。

## 28 男女共同参画施策事業

<生活環境部(男女共同参画課)>

男女共同参画社会の実現に向け、啓発活動を始めさまざまな施策を総合的に進めていく事業

施策KPI	基準値(H23)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
家庭生活で男女平等となっていると思う人の割合	26.2%	%	30.3%	61.01	61.01	43%
男性が育児休業を取ることは家族として当然であると思う人の割合	34.4%	%	19.3%	-142.45	-100.00	45%

[目標値] H34目標値:50%、基準値:H23 ~ 市民意識調査(5年毎)

### 《現状分析》

「家庭生活で男女平等となっていると思う人の割合」については、H28実績値が基準値より上昇、目標値へ近づいたものの、目標値を到達するためには、さらなる上昇率の向上が求められる。  
 「男性が育児休業を取ることは家族として当然であると思う人の割合」については、基準値よりも下がった。  
 各事業の内容を検討し、より効果的な取組を実施することで、更なる意識啓発を行っていく。

## 29 おたる運河ロードレース実行委員会補助事業

<教育部(生涯スポーツ課)>

小樽運河を中心としたコースで行うマラソン大会の実施に関する補助事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
おたる運河ロードレースの市民出場者数	685人	685人	705人	43.48	43.48	800人

[目標値] 平均して+23人/年

### 《現状分析》

平成28年度は平成27年度(685人)に比べ20人増となったが、函館マラソンと日程が近かったことも影響し、目標到達ペースには至らなかった。今後はこどもの体力向上の観点からも、市内小中学生を中心に参加促進を行い、出場者の増加を目指す。

## 30 地元定着を目指す人材育成事業

<産業港湾部(商業労政課)>

就職を希望する高校生に対する就活セミナー・企業見学会の実施や、若者・女性を対象とした就業体験と研修を組み合わせた実践的な就職支援を実施する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
新規高卒者の市内事業所就職率	45.6%	46.8%	52.1%	369.32	100.00	50%

[目標値] 理想値で設定

### 《現状分析》

市内高校の就職内定率のうち市内企業に就職した生徒の割合は、ここ数年45%前後で推移していたが、平成29年3月卒業生における当該割合は52%となった。平成29年度からは、キャリアコンサルタントによる個人面談を定期的実施し、市内高校生の地元定着を継続的に支援する。



### (3)にぎわい再生プロジェクト

#### 31 「小樽の硝子」ブランド力強化事業

＜産業港湾部(産業振興課)＞

硝子は古くから小樽市に根付く地域資源の一つであることから、製作体験の実施や市内の工房等が連携したイベントを開催することで、硝子製品を身近なものに感じたり、市内外における「硝子の街小樽」のブランド力強化が図られることにより新たな需要の掘り起こしに繋げ、小樽硝子産業の底上げを図る事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
卒業記念硝子製作体験の体験率	87%	85%	90%	115.67	100.00	94%

[目標値] H27見込:90%+1%/年×4年、最終目標:100%

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
小樽がらす市における売上	345万円	773万円	718万円	204.95	100.00	800万円

[目標値] H26実績は悪天候のためH25(740万円)を基準に+10万/年

#### 《現状分析》

卒業記念硝子製作体験は授業など学校単位で実施する学校が増加したことや任意での体験率が増加した学校があったことにより、体験率の増加につながった。  
校長会での事業説明や、任意参加校を訪問して児童に直接周知を行ったこと等による効果が現れたものと考えられる。  
小樽がらす市は出店数は概ね横ばい、来場者数は近年増加の傾向にあるが、売上の好調な店がある一方で不調な店もあり、総体として目標値に達していない状況にある。

#### 32 「小樽産品」ものづくり・販路拡大支援事業

＜産業港湾部(産業振興課・商業労政課)＞

長引く不況のため、積極的な投資が難しい中小企業に対し、新技術・新製品などの開発を支援し、地元企業のものづくり力の強化を図るとともに、商談会・展示会に出展するなど国内外への販路拡大の取組を実施する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
商談件数	0件	559件	881件	478.80	100.00	460件

[目標値] 5事業(技術開発促進事業・ものづくり市場開拓支援事業:10、小樽産品商品力販売力向上事業:50、「小樽産品」販路拡大支援事業:380、海外販路拡大支援事業:20)の計 ~ 基準値(H26):未計測

※H29.3改訂で目標値見直し130件→460件

#### 《現状分析》

「小樽産品」販路拡大支援事業では、事前の出展相談会開催等により、効率のよい商談へ導いたことにより件数が伸びているとともに、海外販路拡大支援事業では、展示会等への出展による商談件数が伸びたことから全体数が目標値を上回る状況にある。

【目標値の見直しについて】

(「小樽産品」販路拡大支援事業費)

当該商談会の参加小間数や事業者の構成により商談件数は増減が想定されるため、過去3カ年平均の500件に上方修正する。

(海外販路拡大支援事業費)

商談件数の過去3カ年平均の90件に上方修正する。

計 650件に目標値を上方修正する。

#### 33 小樽港物流促進プロジェクト

＜産業港湾部(港湾室)＞

近年、太平洋側への物流シフトなどにより、小樽港の取扱貨物量が低迷していることから、ポートセールスを強化するとともに、対岸にロシアを望む地理的優位性を生かした物流の促進により経済の活性化を図る事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
取扱貨物量	968千t	889千t	873千t	-950.00	-100.00	978千t

[目標値] 1%増

※H29.3改訂で目標値見直し1,010千t→978千t

#### 《現状分析》

中国向け定期航路を利用した輸出入については、衣類等の雑工業品の取扱減などにより若干の減少基調である。また、対ロシア貿易はルーブルの低迷等により完成自動車や自動車部品など金属機械工業品の輸出減などが減少要因となっている。

### 34 企業立地促進事業

＜産業港湾部(産業振興課)＞

当市のブランド力や優位性を活かし、道外からの企業誘致による新たな雇用の創出と地域経済の活性化を図るため、小樽に立地する可能性がある企業の掘り起こしを行うほか、首都圏を中心とした企業訪問や産業展への出展により当市の操業環境PRなどを実施する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
市長・幹部職員による企業訪問	31社	43社	83社	188.41	100.00	100社

[目標値] 20社/年、5年累計

#### 《現状分析》

平成27年度と同様、設備投資動向調査の結果等を基に企業訪問を行ったため、年間目標値の20件を上回った。

【目標値の見直しについて】

5年累計の目標値は100件だが、H27-28で既に83件となり、目標値を達成する可能性が高いことから、目標値の上方修正を行う。

H26～28の平均は38社/年(114件/3年)であるが、H29より東京事務所にて企業誘致推進員を設置し市長等により行ってきた企業訪問の一部を担うこととなったため、若干の減少を見込み、年35社の訪問を目標とし、175社に上方修正する。(35社/年×5年=175社)

### 35 国内外観光客誘致推進事業

＜産業港湾部(観光振興室)＞

当市における「観光」は消費や雇用など、多岐にわたる経済波及効果を生み出しており、重要な基幹産業となっていることから、交流人口の拡大に向け、各種媒体の活用など、国内外に向けたプロモーション活動を実施する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
宿泊客数	663,900人	700,200人	736,185人	115.77	100.00	820,000人

[目標値] H27実績を踏まえ、過去3年間の伸び率から算出

※H29.3改訂で目標値見直し697,000人→820,000人

#### 《現状分析》

H25以降宿泊客は順調に伸びており、特に外国人宿泊客数の増加が目立つ。ほぼ目標値どおりに推移している。

### 36 国内外観光客受け入れ環境整備事業

＜産業港湾部(観光振興室)＞

アジアを中心に海外からの観光客が増加していることから、観光案内所に外国語対応の通訳を配置するほか、特に外国人のニーズが高いWi-Fi環境の整備を行うことで、利便性やホスピタリティーの向上と観光拠点への誘導による外国人観光客の回遊性を高め、観光客による経済波及効果の拡大を図る事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
観光案内所利用者数	130,425人	173,204人	325,345人	232.52	100.00	340,000人

[目標値] H27実績を踏まえ、過去3年間の伸び率から算出

※H29.3改訂で目標値見直し150,000人→340,000人

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
国際インフォメーションセンター年間利用者数	79,070人	108,759人	124,434人	186.13	100.00	140,000人

[目標値] H27実績を踏まえ、過去3年間の伸び率から算出

※H29.3改訂で目標値見直し100,000人→140,000人

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
移動式Wi-Fi環境提供実績(設置日数)	0日	17日	18日	150.00	100.00	30日

[目標値] クルーズ船20、潮まつり3、雪あかり7

#### 《現状分析》

JR小樽駅案内所利用者が目立って増加しているほか、中国、台湾、タイなどアジア圏からの外国人観光客の増加している。移動式wi-fiは天候不良等で設置できない時期、設置しても天候不良で実績ない時期もあったが、ほぼ目標値どおり推移している。

### 37 新たな魅力づくりによる観光振興事業

＜産業港湾部(観光振興室)建設部(まちづくり推進課)＞

小樽観光は近隣からのリピーター客も多く、新たな観光の切り口が必要となっていることから、クールジャパン「kawaii」やご当地グルメ、知られざるまちのロケーション、歴史的建造物など、さまざまな角度から観光資源の掘り起こしを図り、新たな観光需要を開拓する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
イベント参加者・来場者数	10,000人	10,700人	9,850人	-6.00	-6.00	12,500人

[目標値] 25%増

#### 《現状分析》

H28はあんかけの補助金交付申請せず、自主運営をめざした。首都圏で開かれたB1グランプリが当初予想より入込みが少なく、前年に比べて極端に販売食数が少なかったことが影響している。また、ショートフィルムセッションは隔年開催であり、H28はなし。Kawaiiパーティは開催4年目でほぼ入り込み数は横ばいである。

### 38 創業支援事業

＜産業港湾部(産業振興課)＞

市内での創業を増やすことで、雇用の場を増やし、札幌市などへの転出を抑制するため、これまで中心部商店街や市場などでの創業に限定されていた、創業者に対する補助制度等の拡大・充実を図る事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
創業支援対象者数	117件	87件	164件	82.17	82.17	260件

[目標値] 創業支援事業計画より

#### 《現状分析》

産業競争力強化法におけるガイドラインに基づき設定した目標値には達していないものの、平成28年度は初年度である平成27年度と比較し約2倍の実績値となっており、上向きに推移している。

### 39 水産物ブランド化推進事業

＜産業港湾部(水産課)＞

水産物の販路拡大・消費拡大に向け、新たな販路の開拓やイベントによるPR活動、新商品の開発を行うとともに、小樽で水揚げされた旬な魚や、その魚を原材料として製造される水産加工品の技術など、小樽の水産の魅力情報を発信し、ブランド化を進める事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
Webサイト閲覧数	0人	354人	18,326人	458.15	100.00	10,000人

[目標値] H27開設、立ち上げ年:1,000人、翌年:5,000人、以降:10,000人

#### 《現状分析》

旬な情報トピックスやイベントなどフェイスブックと連動した情報発信が本格的に稼動した年度であったため情報内容に新鮮味を感じたことからウェブサイト閲覧数が伸びたと考えられる。今後は、定着したイベント(しゃこ祭)情報や水産関連情報(群来)など、話題となる情報提供を継続し、新たな訪問者の開拓を図る事を計画し、目標値を10,000人から20,000人に上方修正する。

### 40 小樽産農産物PR事業

＜産業港湾部(農政課)＞

消費地に近い都市近郊型農業で、多品種の生産が可能である「強み」を活かし、安心、安全な地場の農産物を小樽市民及び札幌圏の住民に周知を図る事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
直売所におけるイベント来場者数	1,000人	1,100人	1,300人	150.00	100.00	1,500人

[目標値] +100人/年

※H29.3改訂で追加

#### 《現状分析》

直売所における生産者との対面での購入が、消費者の安全・安心な食材を買い求めたいというニーズにマッチしている。

#### 41 まちなか観光にぎわいづくり事業

＜産業港湾部(観光振興室)＞

中心市街地において歩行者交通のハブを設けることで、観光客の動線を延長するための誘因を強化するとともに、滞在時間の延長による経済効果を受け止める仕組みをつくる事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
観光物産プラザの来館者数	244,240人	335,942人	384,357人	188.57	100.00	430,000人

[目標値] H27実績を踏まえ、過去3年間の伸び率から算出  
※H29.3改訂で目標値見直し300,000人→430,000人

##### 《現状分析》

ほぼ目標値どおりに推移。

#### 42 明日の小樽を支える観光イノベーション事業

＜産業港湾部(観光振興室)＞

小樽版DMOの構築に向け関係団体との合意形成や、観光地経営の視点で「稼ぐ力」を引き出すための方策を検討する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
観光入込客数	7,447,800人	7,949,300人	7,907,741人	51.05	51.05	9,700,000人

[目標値] H27実績を踏まえ、過去3年間の伸び率から算出  
※H29.3改訂で追加

##### 《現状分析》

事業内容は分析が主であり、直接入込みに反映されるものではない。H27→28については道内容の入込込みが災害等で落ち込んだのでほぼ横ばいとなった。

#### 43 歴史文化基本構想策定事業

＜教育部(生涯学習課)＞

小樽市内の文化財及びその周辺環境を保存するための基本方針として小樽歴史文化基本構想を策定し、日本遺産認定へ向けた「ストーリー」展開を図る事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
文化財データベース化件数	0件		2,492件	62.30	62.30	10,000件

[目標値] H29目標値:3,350件のデータベース化 ※H29新規事業  
※H29.3改訂で追加

##### 《現状分析》

小樽市史や小樽市埋蔵文化財調査報告書、小樽市総合博物館紀要などの文化財に関する資料の整理・確認を行っている。

#### 44 海外販路拡大支援事業(連携事業分)

＜産業港湾部(産業振興課)＞

札幌市他で組織する、海外展示会出展等を行う実行委員会に参加し、市内企業の海外販路拡大を支援する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
参加企業数	0社	7社	6社	150.00	100.00	10社

[目標値] H27見込みから+1社/年程度  
※H29.3改訂で目標値見直し4社→10社

##### 《現状分析》

平成27年度から札幌市等との連携により商談会等への出展機会を創出しており、目標値に向けて順調に推移している。

#### 45 地域経済交流促進事業費補助事業

＜産業港湾部(商業労政課)＞

札幌市内の量販店で「小樽の物産と観光フェア」を開催し、小樽・後志の物産販売と観光PRを行い、隣接する大商圏である札幌圏との経済交流促進を図る事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
参加企業数	12社	15社	16社	333.33	100.00	15社

[目標値] +1件/年(新規企業の参加による増を目指す)

##### 《現状分析》

平成27年度に3社、平成28年度に1社増加。  
目標値は催事スペースなどの条件を考慮して設定しているため、見直しは行わない。

#### 46 小樽産品商品力・販売力向上事業

<産業港湾部(商業労政課)>

小樽・北しりべしの食関連企業を対象に、商品開発の支援や販路開拓のほか、商品開発力・販売力向上に資する、販売実践会等の取組を行う事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
参加企業数	11社	12社	14社	83.33	83.33	20社

[目標値] +2件/年(新規企業の参加による増を目指す)

##### 《現状分析》

商品開発や改良支援を行った商品は実際の取引きに結びついており、平成28年度は、パッケージやレシピなどについてアドバイスを実施。目標値(新規2件程度/年)に対し、新規参加企業が6社、平成27年度参加したが平成28年度は参加がない企業が4社、差し引き2社(件)の増となった。

#### 47 小樽港クルーズ推進事業

<産業港湾部(港湾室)>

市や国などの行政機関と民間で構成される小樽港クルーズ推進協議会による誘致活動や、寄港に対応するための受入態勢を強化する事業(受入歓迎事業の一環として、客船寄港時のふ頭において小樽・北しりべし産品の販売を実施)

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
参加企業数	17社	16社	17社	0.00	0.00	25社

[目標値] +2件/年(新規企業の参加による増を目指す)

##### 《現状分析》

寄港回数は増加したが、中国人観光客の購買意欲の低下などにより数値は横ばい。

#### 48 東アジア圏等観光客誘致広域連携事業費補助事業

<産業港湾部(観光振興室)>

札幌市などと連携し、アジア圏をはじめとした外国人観光客とMICE誘致に向けメディア招聘などを実施する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
北しりべし6市町村の外国人宿泊客数	141,441人	180,741人	未集計	81.38	81.38	332,000人

[目標値] 5%増

※H29.3改訂で目標値見直し149,000人→332,000人

##### 《現状分析》

小樽の外国人観光客の宿泊者数は比較的順調に伸びているが、広域全体では目標値達成はやや厳しい数字となっている。

#### (4)あんしん絆再生プロジェクト

##### 49 特定健康診査等事業

<医療保険部(国保年金課)>

国民健康保険の被保険者(40歳以上)を対象に、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための健診・保健指導を実施する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
特定検診受診率	16%	16%	未集計			40%

[目標値] 国の目標値は60%だが実現不可能→現状値を勘案して設定

##### 《現状分析》

※10月の法定報告で確定

##### 50 各種がん検診事業

<保健所(保健総務課)>

胃がん、肺がん、子宮頸がん、乳がん、大腸がんの早期発見、早期治療により、がん死亡率の減少に努めることを目的とする事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
がんの標準化死亡率(男)	118.7	119.1	120.1	-87.50	-87.50	117.1
がんの標準化死亡率(女)	112.1	112.4	114.2	-75.00	-75.00	109.3

[目標値] -0.4/年(男)、-0.7/年(女)×4(単年では変動が大きいため10年間の平均値)

##### 《現状分析》

「標準化死亡率」は一定の期間(5~10年)を置いて評価されるものである。引き続き各事業を推進し、目標値改善に努める。

##### 51 地域包括支援センター運営事業

<医療保険部(介護保険課)>

高齢者を地域全体で支える「地域包括ケア」の拠点として、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーの専門職を配置し、介護、福祉、健康、医療などの多方面から支援するセンターを運営する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
センターの相談件数	1,845件	2,349件	2,418件	258.11	100.00	2,400件

[目標値] +100件/年(過去の推移より)

##### 《現状分析》

介護保険法改正等に伴う機能強化策として市内4カ所の各地域包括支援センターに1名増員し、認知症地域支援推進員や認知症初期集中支援チーム員としての機能を担うことで認知症関連相談窓口としてより強化を図ったため、相談件数の増加につながった。

##### 52 地域住民グループ支援事業

<医療保険部(介護保険課)>

地域版介護予防教室など、地域住民等による自主グループが行う介護予防事業に対する支援を行う事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
地域版介護予防教室延べ参加者数	6,090人	7,830人	11,413人	192.58	100.00	13,000人

[目標値] 24教室に倍増→実施回数増(H26:12教室、315回)

##### 《現状分析》

地域版介護予防教室は15カ所で422回開催されたため、参加者数が増加した。

##### 53 老壮大学運営費補助事業

<福祉部(地域福祉課)>

概ね60歳以上の市民を対象に、生涯学習を通じて、高齢者の生きがいづくりと心身の健康増進を図ることを目的として開設された小樽老壮大学の運営を補助する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
老壮大学学生数(選科生)	248人	245人	251人	375.00	100.00	250人

[目標値] ほぼ現状維持

##### 《現状分析》

受皿となる高齢者団体が増加し選択肢が増えており、老壮大学は1年間を通じての受講が高いハードルとなっているのか受講生は増えていない。ポスターを増刷し広く周知するほか、人気のある講座数を増やすことで学生数の増加につなげたい。

## 54 消防団活動支援事業

<消防本部(総務課)>

地域における地域防災力の中核的な役割を担う消防団の活動を充実強化するため、消防団の装備の整備を行い、消防団員の能力向上及び安全の確保を図る事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
消防団員数	485人	452人	434人	-566.67	-100.00	494人

[目標値] H40目標値:548人

### 《現状分析》

消防団員の平均年齢は49歳で全国平均と比べて高く、有職者も約300名いるため、健康状態の不安や転勤による退団者も増加している。団員による声掛けやチラシ配付による広報活動の他、平成29年2月より運用している「学生消防団活動認証制度」により、若年層の入団者増加を目指している。

## 55 救急等広報資器材整備事業

<消防本部(警防課)>

市民及び市内に勤めている方を対象にAED(自動体外式除細動器)の使用方法、胸骨圧迫(心臓マッサージ)や人工呼吸等の心肺蘇生法・止血法等「救命に必要な応急手当」の基礎知識と実技指導の講習を行う事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
普通救命講習会(I・II)の講習受講者数	6,584人	6,833人	7,080人	58.60	58.60	8,700人

[目標値] H30目標値:8,400人+過去10年平均300人/年

### 《現状分析》

一般救急講習会や各種行事において普通救命講習受講の広報を行うとともに、定期開催の講習会に参加できない事業所等には、職員を派遣するなど、受講者側のニーズに対し柔軟な対応を行うことで受講者の増員を図る。また、過去に普通救命講習を受講し、3年以上経過した受講者に対し再講習の案内を行う。

## 56 避難支援事業

<総務部(災害対策室)>

市民が災害時に迅速で的確な避難行動をとれるように、ハザードマップを整備するとともに、地域における避難訓練において活用し、防災意識の高揚を図ることなどを行う事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
防災体制整備率	38%	39%	41.2%	12.90	12.90	100%

[目標値] 完備を目標

### 《現状分析》

土砂災害警戒区域等の指定については、道が公表している土砂災害危険箇所(519カ所)の内、基礎調査が終了した箇所(310カ所)から順次北海道が行うものであり、現在214カ所となっている。指定にあたっては、地域の理解を得るための説明会を市の協力のもとで北海道が実施したうえでを行っているため、目標を達成するには相当の時間を要すると考えられる。このため、今後の進捗率が急速に高まる見込みは少なく、目標値の再設定についても検討する必要があると考えている。

## 57 避難所機能強化事業

<総務部(災害対策室)>

災害発生時の避難所受入強化のため、計画的に非常用食糧や防寒対策用品等を整備する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
避難所備蓄品整備率	74%	79%	79.4%	51.92	51.92	100%

[目標値] 完備を目標

### 《現状分析》

順調に推移している。今後は更新が必要な備蓄品の入れ替え配備のほか、新たに配備すべき備蓄品の検討を行う。

## 58 地域コミュニティ活動支援事業

＜生活環境部(生活安全課)＞

地域のコミュニティ活動を促進するため、地域の環境美化に対する取組や、活動の拠点となる町内会館の新築・改修に対し支援を行う事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
快適な環境づくり実践促進連絡会議各活動への参加人数	283人	270人	294人	161.76	100.00	300人

[目標値] ほぼ現状維持

### 《現状分析》

「小樽市快適な環境づくり実践促進連絡会議」は現在50の幹事団体が構成されており、清掃活動や、美化活動を実施しているが、日程や天候等により、参加団体及び参加者の増減がある。

## 59 総連合町会補助事業

＜生活環境部(生活安全課)＞

総連合町会の円滑な運営の促進と、各地域における生活環境の整備や青少年の健全育成などの町会活動に対して支援を行うことを目的として助成する事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
町会加入数	152町会	151町会	151町会	86.67	86.67	152町会

[目標値] 現状維持

### 《現状分析》

H28.3.31付で1町会が解散したため。

## 60 銭函市民センター施設関係事業

＜生活環境部(生活安全課)＞

銭函地区における市民の生活文化向上と福祉の増進を図ることを目的とした施設の運営事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
銭函市民センター年間利用者数	28,951人	30,231人	28,752人	-18.97	-18.97	30,000人

[目標値] ほぼ現状維持

### 《現状分析》

団体利用に大きな増減はないが、体育室、娛樂室(囲碁、将棋等)の個人利用者数に年度によって増減あり。

## 61 三市区連携事業

＜総務部(企画政策室)＞

地理的にも隣接している三市区(小樽市、石狩市、札幌市手稲区)が、交通安全、イベント、情報交換など、さまざまな分野で連携事業を行うことにより、地域住民の相互交流を促すことを目的とした事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
連携事業数	13回	12回	12回	-33.33	-33.33	16回

[目標値] プロモーション+1回、情報PR+1回、イベント連携・協力+1回

### 《現状分析》

基準値から1回減となっているが、他市区でのイベント開催がなくなったことにより参加できなくなったためである。三市区で今後の連携をどのように発展させ、地域住民にPRしていくかを1度協議したが、具体案は今後の検討課題としており、今後、さらに協議を進める必要がある。

## 62 定住自立圏構想推進事業

＜総務部(企画政策室)＞

都市機能を有する小樽市と近接する近隣市町村(積丹町、古平町、余市町、仁木町、赤井川村)とが相互に連携し、役割分担しながら暮らしに必要な機能を確保していくことを目的とした事業

施策KPI	基準値(H26)	H27実績値	H28年度			目標値(H31)
			実績値	補正前スコア	スコア	
連携事業数	1回	2回	2回	62.50	62.50	5回

[目標値] プロモーション+2回、情報PR+1回、イベント連携・協力+1回

### 《現状分析》

基準値より1回増となっているが、三市区連携事業においても圏域プロモーション事業を実施しており、実質的には3回実施している状況。今後のPRとして、イベント形式にとらわれず、情報発信する手法も検討すべきと考えている。